

事業番号	13 01 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水道事業（用水供給事業）	部局	企業局	課・室	水道事業課		
		実施期間	S49 ~	E-mail	kigyo @ pref.nagano.lg.jp		

### 1 現状と課題

- ・人口減少に伴う用水供給先における水需要の減少、施設の老朽化
- ・令和17年度以降に予定されている送水幹線の更新に向け、用水事業全体の投資計画を定め、必要な財源の確保が必要
- ・将来にわたり安全・安心な水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成及び広域連携の強化が必要

### 2 事業目的

- ・用水供給先に安全な水を安定的に届けるため、アセットマネジメントを活用して施設設備の計画的な更新等を実施
- ・近年頻発する大規模災害等に対応して基幹管路の耐震化を実施するとともに、災害発生時における広域的連携を強化
- ・知事部局や市町村等と連携して設立した「長野県水道事業広域連携推進協議会」等において、広域化・広域連携等の取組を推進

### 3 事業目的を達成するための取組

- ① 未来への投資
- ・施設・管路の老朽化対策・耐震化の計画的な推進  
施設耐震化（本山浄水場濃縮槽耐震化工事等）  
管路耐震化（支線管路耐震化工事）
- ② リスクマネジメント
- ・施設耐震化・管路耐震化の老朽化対策の計画的な推進（再掲）
  - ・片平取水場の取水機能強化を図るための詳細検討
- ③ 地域への貢献・地域との連携
- ・持続可能な水道事業確立のため広域化を推進  
（関係市村との財政シミュレーション（R4 実施）に基づき広域化の検討を推進）

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	基幹施設（本山浄水場）の耐震化進捗率	%	90.0	90.0	→	90.0	→	90.0	達成	近年、頻発する大規模地震を踏まえ、本山浄水場の取水口、沈砂池、ろ過地、浄水池、洗浄水槽等の耐震化を行う。	
②	管路の耐震適合率	%	92.6	95.7	↗	98.8	↗	100.0	未達成	近年、頻発する大規模地震を踏まえ、管路の耐震化を行う。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R5年度	388,998	2,264,519	△ 18,493	2,635,024	0	2,092,219	13.0
R4年度	205,605	2,299,002	19,543	2,524,150	0	1,929,383	13.0
R3年度	645,984	2,339,709	△ 10,482	2,975,211	0	2,538,110	13.0

事業番号	13 01 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	水道事業（用水供給事業）		部局	企業局	課・室	水道事業課		

## 7 主な取組実績と成果

### ① 未来への投資

東山支線管路耐震管布設工事 管路耐震化布設延長 1.5km  
 本山浄水場 急速ろ過設備制御盤等取替工事他  
 本山浄水場 排水処理施設耐震化工事他



本山浄水場耐震化工事



急速ろ過設備制御盤等取替工事

### ② リスクマネジメント

片平取水場において、施設の更新時や維持管理の際に取水場への重機進入が必要となることを想定し、管理用道路の詳細設計を実施。

### ③ 地域への貢献・地域との連携

広域化・広域連携の議論を含む「松塩水道用水供給事業に係る打合せ会議」を経て、松本市、塩尻市、山形村及び長野県を構成員とする「松塩地域水道事業広域化研究会」を発足。



松塩地域水道事業広域化研究会

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	基幹施設（本山浄水場）の耐震化進捗率	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
排水処理施設の施工工程の見直しを行い、着実に進めている。							
指標②	管路の耐震適合率	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
資材価格等の高騰による施工量の縮小のため、目標値に届かなかった。経営状況への影響を考慮した上で、計画的に更新を行っていく。							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・資材、人件費の高騰により、対策工事の施工延長が当初の計画どおり進まない。
- ・広域化・広域連携においては、地域全体の水運用、水道施設の耐震化や専門人材の確保等、各種課題の検討が必要。

### (2) 事業改善の方策

- ・安定的な用水の供給が行えるよう、耐震化工事等の実施に当たっては、経費縮小や更新計画の見直しを図る。
- ・安全・安心な水を安定的に供給できるよう、今後も経費縮小や更新計画の見直しを行うとともに、地域と連携した広域化の検討を行っていく。

事業番号	13 01 03	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>水道事業（用水供給事業）</b>		部局	企業局	課・室	水道事業課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	<b>水道事業（用水供給事業）</b>		2,538,110 千円	1,929,383 千円	2,092,219 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	施設設備の老朽化対策等の加速	直接 委託	安全・安心な水を安定的に届けるため、施設設備の老朽化対策、耐震化を計画的に推進 本山浄水場老朽化設備更新 4箇所		
2	リスクマネジメントの推進	直接 委託	大規模災害等に備え、施設・管路の耐震化の推進、片平取水場の取水機能強化を図るための検討の実施 管路の耐震化 L（延長）= 1.5km		
3	水道事業の広域化等の推進	直接 委託	持続可能な水道事業を確立するため、関係市村との財政シミュレーションを実施し、広域化・広域連携の検討を推進 松塩地域水道事業広域化研究会発足		